

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 鞆ヶ谷 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
男女ともに、「運動やスポーツが好きですか。」や「体育の授業は楽しいですか。」の項目に対し、肯定的な回答が多く、全国や市の平均を大きく上回っている。運動に対して好意的な児童が多いことが、実技の結果が男女ともに大きく全国や市の平均を上回っていることにも繋がっていると考え。女子は、「朝食を食べない日が多い」と回答した児童が、全国や市の平均よりも多く、睡眠時間も全国や市の平均よりも短いことが分かった。家庭とも連携して、改善していく必要があると考える。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校では、養護教諭が全学年で年間3回の保健指導を行っている。その内容についても様々で、担任と話しながら学年の課題に応じた保健指導を行っている。今後も引き続き、朝食を摂ることや、睡眠時間を確保することなどの重要性を、継続的に伝えていく必要があると考える。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

今年度、本校では「ランランタイム」と称して、年間を通して週に1回の5分間走を行ってきた。また、走った周回を児童下足前に掲示することで、年間を通して目標をもって意欲的に取り組めるようにしている。それにより児童は、運動を継続して行う習慣が身に付いてきており、体力の向上にも繋がっている。
